Walk with Children めぐろ せいび

203号
2024年7月

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

どんな時にも感謝しなさい。　　テサロニケⅠ　5章16節～18節

校長　　シスター　小 島　理 恵

今年の梅雨は、例年になく不安定な天候で、豪雨が来たかと思えば、次には体温を優に超える高温の日が襲ってくる…そんな中、特に日本各地で被災された方々に思いを馳せながら過ごす日々でした。

さて、いよいよ終業の日、夏休みが目前に迫ってまいりました。この3か月半の間にいくつもの学校行事が行われましたが、どれも子ども達がワクワクするような素敵な体験となりました。4月の入学式で107名の1年生を迎え、618名で令和6年度がスタートしました。そして、1・2年生の遠足や聖母祭、運動会や学年ごとの合宿など、子どもたちにとって、一つひとつが思い出のページに記されたことと思います。今年度の運動会では、数年ぶりに保護者競技の綱引きが行われました。たいへん多くの皆様にご参加いただいたこと、改めて御礼申し上げます。そして同時に参加賞の不足についてはお詫び申し上げます。

前期前半に皆様が学校に対して示してくださいました信頼とご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。この夏は昨年の猛暑に匹敵する暑さになりそうです。どうぞ、健康には十分お気をつけてお過ごしください。

Connessione（コンネッシオーネ）　～つながり～

「Connessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。
そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

主なる神は、彼をエデンの園から追い出した。

創世記　3章23節

つい先週も、四国の土砂崩れで多くの方が被災されました。今年の夏は災害級の猛暑が予想されています。自然災害や感染症に悩まされると、なぜ神様はこのようなことを私達にするのかと考えてしまうときがあります。

そのような考えを持った時には、「アダムとエバが禁断の果実を食べてしまい、園から追放されたとき、食べてはいけない木があるのに、食べられないように、手が届かないように、神様はしていなかった理由を考えるといいよ。」と教えていただいたことがあります。

神様は、私達にとって深い悲しみを伴う出来事をも「しるし」として、私達に何かを語りかけようとしていると考えるべきではないでしょうか。私達があって欲しくないと思う出来事や、してほしいことをしてくれない人との関わりを通して、神様が私達に必要なメッセージを送り、導いてくださっていると目を開いておきたいものです。

６年生合宿　～美ら島学校～　6/25～28

平和学習を主軸に、沖縄の自然、文化、歴史を学んできました。美しい海や空を見て、現地の方のお話を聞いた子ども達は、この平和を守るためにどんなことが自分にできるのかということを考えて過ごしていました。

美ら島学校

６年

沖縄の合宿の目的は、未来に向かって私にできることを考えることです。

沖縄で未来について考えたことの一つは、人が平和に暮らせる世の中にするにはどうしたらいいのかということです。それを考えたきっかけになったのは、平和記念資料館に行ったことでした。

平和記念資料館では、戦争を体験した人の話がたくさん書いてありました。ぼくたちとあまり年のかわらない人たちの悲しい経験を読んでとてもつらく悲しい気持ちになりました。そして、今自分がめぐまれていることに感謝しようと思いました。今、僕たちはまだ子どもなので戦争について行動はできないけれど、いつも思いやりの気持ちと感謝の気持ちを忘れずにいたら戦争がなくなるのではないかと思いました。

二つ目に考えたことは、沖縄の自然についてです。東京にはない自然や生き物たちがこれからもあり続けるために、僕たちがこれから一つひとつ自分にできることをやっていかなければいけないと思いました。他にもできることがあればみんなと力を合わせてやっていきたいなと思いました。

教皇様のために祈る日　7/1

教皇様は、私たちが住む世界の平和のために日々祈ってくださっています。
私たちの幸せのために絶えず尽力してくださる教皇様のことを思い、
７月１日（月）に教皇様のために祈る日の集いが行われました。
集いを通して、教皇様の偉大さや優しさに触れることができました。

楽しかったげき

５年

私たちＰ．Ａ．Ｍ．は、学校のみんなに教皇様のことを知ってもらおうとげきをしたり、クイズをしたりしました。休み時間や朝少し早くに集まり、みんなで力を合わせて準備をしました。げきの練習ではうまくいかないこともあったけれど、練習を重ねるうちにみんなで大きな声で伝えることができるようになりました。私はげきのたん当だったので、みんなに伝わるように、はっきりした声で身ぶり手ぶりをつけて表現しました。

今回のようにみんなが楽しみながら知識を深めていける活動を、もっと広げていけたらいいなと思いました。

運動会　　6/21～とどろきアリーナ～

今年も子供たちの大きな声援がとどろきアリーナに響き渡りました。コロナ以前の形にほぼ戻り、応援団や、保護者競技が復活しました。体育の授業の発表の場として、低学年から高学年への成長が見える競技や演技を行い、よい発表になったものと思います。自分の色にとどまらず、自分の周りの人への声援や応援ができ、それぞれがめあてをもって取り組み、最高の笑顔が見せられた一日になりました。

精一杯やった応援

6年

私は運動会の役員で応援団になりました。練習をしていく内にますます楽しくなって、団長を希望しました。そして、赤組の団長になることができ、最初はびっくりしました。けれどうれしかったです。セリフを覚えるのは大変だったけれど、楽しく練習しました。

運動会当日、胸を張って楽しく応援することができました。結果、白が勝ちました。とても悔しかったけれど、精一杯がんばって、楽しくできました。

楽しんで精一杯できることをやれば、それがもし結果として出なくても、よい思い出、経験になると思いました。だから、これから、自分が苦手なことも精一杯やって、楽しんで取り組もうと思いました。